

～古賀院長エッセイ～

## 次代への風



### 守備と攻撃

長い梅雨がやっと明けました。この間に被災された方々やコロナと闘われた方々には心よりお見舞いと称賛をお送り申し上げます。

まだまだ闘いは続き、誰でも災難、感染に遭遇する可能性があります。実は森の木も裏の崖が一部崩れ、冷房の室外機が損傷され、CT, MRIの運用に少し支障が出ました。幸い30年前の建設時に想定して、補強していた強固なコンクリート外壁のため、建物や人の被害はありませんでしたので、ご安心下さい。

コロナとの戦いはまだ始まったばかりで、山中教授いわく、野球に例えるとまだ2回表のコロナの攻撃中、とのこと。攻撃されていればしっかりと守る必要があります。

もし自分が敵のコロナだったら、あそこが弱いので狙ってやる、と考えると、自ずと守備固めができます。自分の弱点を如何に補強し、その上に敵を攻撃する、というのが勝利するための鉄則です。

一般の病気や怪我との戦いも同じです。不摂生や無理な運動は弱点になります。これを正してこそ、反撃である薬剤や手術などの効果で勝利することができます。

弱点を見つめなおして、この困難な時期を乗り越えていきましょう。



### 院長語録

毎朝の朝礼での一訓をご紹介します。

#### ◎合格点の答案を出す

直面する問題に対し100点でなくとも合格点の答案を出し続けることが大事。問題は日々変化する。よって昨日の答案も常に変わりうる。今日そして明日も。